



## 中小業者施策の更なる充実を 9月11日(水)愛知県交渉

11日(水)に2019年度愛知県予算編成にあたっての話し合いが愛知県三の丸庁舎で行われ、北名古屋民商から副会長の正岡さんが参加しました。

愛知県との交渉は、毎年この時期に行われており、中小業者の切実な要望を直接、愛知県の幹部職員に訴える貴重な時間となっています。今年の交渉では、まず中小企業施策について話し合われ、昨年の交渉の場で愛知県が民商を『中小企業振興基本条例における支援機関』と認識したことを受け、県内の市町村に対して振興条例制定やその審議会に民商の代表を参加させることを促すように訴えました。また、中小業者の中でも小規模企業、さらに家族経営や個人事業主などから構成される小企業に対する支援や配慮を積極的に実施してほしいと要望しました。

続いて、税金の徴収問題に言及しました。滞納整理機構から実際にあった人権無視の事案を本人が訴えると、県職員はその場で謝罪することもなく、「そのような徴収方法は指導していない。個別案件となるので、機構の方に確認します。」とまるで関与していないような対応にとどまりました。また、実例を交えながら納税猶予制度の利用に関してはほとんど進展していないことも訴え、改善を求めました。



このほかにも、交渉では昨年から都道府県化され、多くの自治体で税額が引き上げられた国保制度への介入強化や愛知県信用保証協会を利用した融資が10年で半減していることを受け、もっと利用しやすい制度融資の実現を訴え、2時間の交渉を終えました。

交渉に参加した正岡さんは、「昨年、民商を中小企業振興基本条例における『支援機関』と認識しているといった割には、やっている施策は大企業優先ばかり。口だけではなく、もっと中小業者に目を向けた施策を講じ、地域活性化・景気回復を目指してほしい。」と感想を述べられました。

## みんなで学習してレベルアップ！！ 会員レベルアップ学習会開催

15日(日)、北名古屋市コミュニティーセンター会議室で会員レベルアップ学習会を開催し、橋本会長を含め、7名が参加しました。

初めに商工新聞8.26号の記事を参考に10月からの複数税率導入がいかにかやこしく、その後導入が予定されている『インボイス制度』が中小業者にとってマイナスであるかを学習しました。

続いて、『班支部活動の手引き』と月刊民商の記事を参加者全員で読み合わせ、討論したところ、「会員同士のつながりがやっぱり大事」「若い会員が参加できるイベントを考えよう」「方針案にしたがって運営していかないと」「全会員訪問時にアンケートを実施したらどうか」など様々な意見が出されました。最後に橋本会長から「今年も県内で拡大リレーが行われており、北名古屋民商の最初の当番日が迫ってきています。会員訪問を行い、全会員に声をかけ、全ての当番日で目標が達成できるように頑張りましょう」との決意表明がありました。



## 個人番号の記載は必要ありません 年金受給者の扶養申告書

8月末から年金受給者のところに日本年金機構から『年金受給者のための扶養親族等申告書』と『個人番号申出書』が届いており、「記載の仕方がわからない」、「マイナンバーを記載する項目があるが書かないといけないのか」など事務所まで相談が相次いでいます。

申告書や同封されている記入の手引きには、『個人番号の記入がない場合、確認のため申出書をお返しします』との注意書きや『記入漏れがある場合や提出がない場合は、扶養控除などの適用が受けられず、所得税等が多く源泉徴収される場合があります』といった一見すると不安をあおる文言がありますが、マイナンバーの記載がなくても不利益はありません。実際に日本年金機構と民商で話し合いを行い、注意書きが誤解を生む表現であったことを機構側も認めています。

ただ、未提出の場合は所得税が多く徴収されることがありますので、内容をよく確認していただき、期限までに申告書を提出するようにしましょう。記載の仕方がわからない場合は、一人で悩まずに民商事務所までご相談下さい。



## 西春駅周辺の業者訪問 消費税緊急アンケートを行いました

16日（日）、役員と事務局4名で西春駅周辺の商店街の業者に対し、『消費税緊急アンケート』と称して業者訪問を行いました。

日曜日休みの店舗も多い中、3件の業者と対話でき、

消費税の増税に関しては「増税は仕方ないが、使い道をしっかりしてほしい」や「これだけ災害が続いて困っている人が多いのに来年10月に本当に増税するのか」など様々な意見が聞かれました。また、2023年から実施されるインボイス制度については、「名前だけは聞いたことがある」や「税務署から冊子が届いたが内容はさっぱりわからない」など戸惑いの声が聞かれ、制度が認識されていない実態が明らかになりました。